

オイスカ in 四国

<http://ww8.tiki.ne.jp/~oiscastc/>

オイスカ (OISCA) の意味

O...Organization (機構) I...Industrial (産業) S...Spiritual (精神) C...Cultural (文化) A...Advancement (促進)

Vol. 2

2006年10月



オイスカ植林団を歓迎するインドネシアの子どもたち



Cultivate the Future
大地と人に、もっとドラマを—

第2期4年目、四国支部最大のプロジェクト **ロンボック島植林を終えて**

オイスカと国際交流に興味のある方を募り、地域色豊かに
四国のつとめ各県で開催。

一度行ってみたい方は **研修センターを訪問してみませんか**

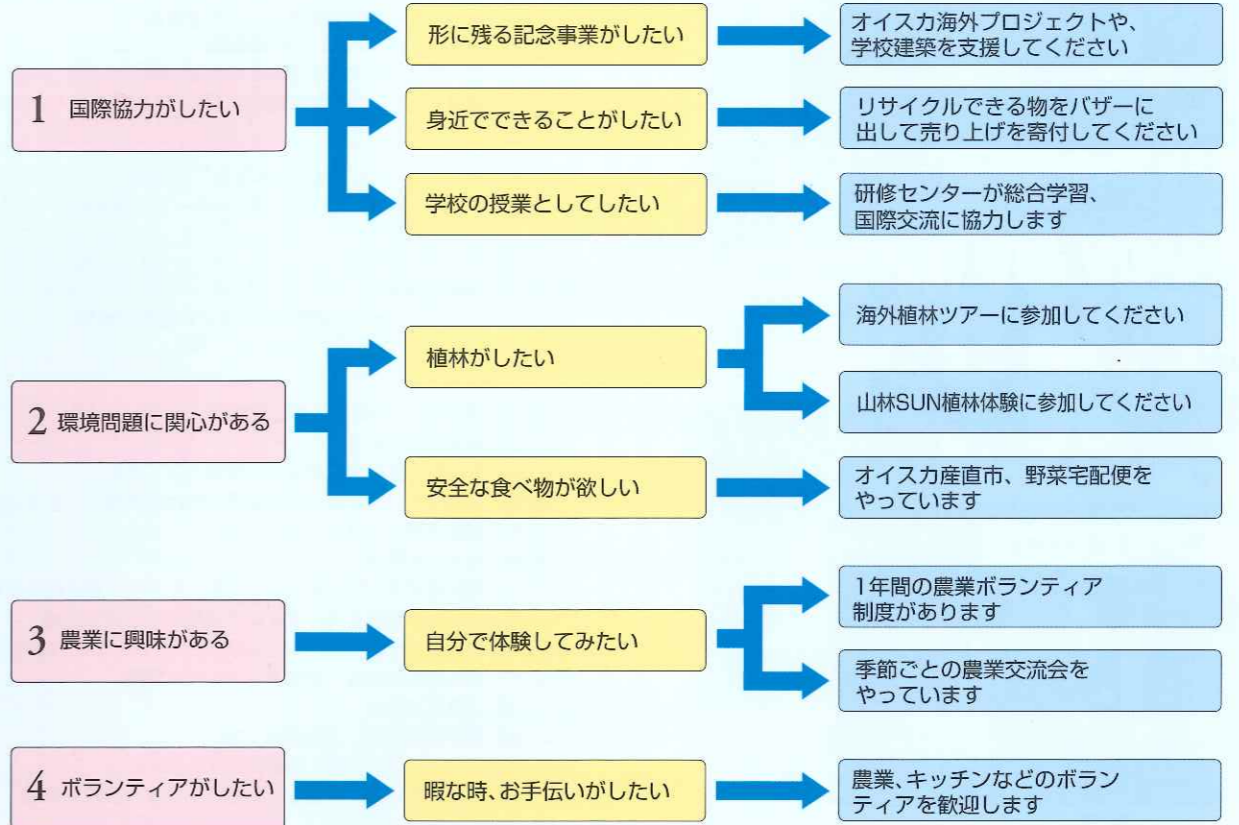
支局の紹介 三豊支局 **カンボジアでの植林活動と「救急車の寄贈」**
愛媛県支局 **松山で、タイで「私の青空」森づくり**

オイスカ四国の発展を誓う、高松・徳島県支局両新会長
高松家族会が研修生と、ホテル見学にいきました。

四国支部・支局の活動が一目でわかる「2006年度上半期のあゆみ」
自分のできること探してみてください！

自分のできること 探してみてください！

オイスカ活動はそれぞれができることをすれば、大きな力になります。1~4の項目を選んで、自分のできることを探して、オイスカ活動に参加してください。



入会の手続き

入会申込書に諸事項を御記入の上、最寄りのオイスカ事務所に御送付下さい。

会費	
特別会員	法人 100,000円以上 (年額) 個人 50,000円以上
維持会員	法人 40,000円 (年額1口) 個人 20,000円

御希望により **月額2,000円 会員募集中** 24000円/年 毎月自動引き落としが可能 (クレジットカード、銀行、郵便局口座)

税法上の優遇措置 いずれの場合もオイスカに対する寄付金、会費の税控除が適用されます。御送付いたします領収書を確定申告時、法人(企業)では、決算時の税務申告に御活用ください。

お問い合わせ先

■四国支部	〒760-0023	高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎(087)821-1503
◆高松支局	〒760-0023	高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎(087)821-1503
◆坂出支局	〒762-0011	坂出市江尻町1721-10 (株)石井内)	☎(0877)45-0141
◆三豊支局	〒769-1502	三豊市豊中町笠田笠岡3915-3 (株)イナダ内)	☎(0875)56-6001
◆香川東支局	〒769-2316	木田郡三木町井戸621-1 (株)バック三樹内)	☎(087)899-1111
◆中讃支局	〒763-0034	丸亀市大手町3丁目2-1 (四国電力(株)丸亀営業所内)	☎(0877)22-5973
◆綾川支局	〒761-2103	綾歌郡綾川町陶5179-1	☎(087)876-3333
◆徳島県支局	〒770-8555	徳島市寺島本町東2-29 (四国電力(株)徳島支店総務課内)	☎(090)3181-0158
◆愛媛県支局	〒790-0925	松山市鷹子町588-3 (東予産業(株)内) http://www.oisca-ehime.com E-mail lovegreen@oisca-ehime.com	☎(089)970-3100
◆高知県支局	〒780-0870	高知市本町1-6-24 (高知商工会議所総務部内)	☎(088)875-1177
■四国研修センター	〒761-2103	綾歌郡綾川町陶5179-1 http://ww8.tiki.ne.jp/~oiscastc/	☎(087)876-3333

編集後記

お陰様で「オイスカ in 四国」の第2号が発行できました。ありがとうございます。創刊号を見て、様々な方面から問い合わせがあり、広報委員会としてはうれしい限りです。オイスカ活動を理解するには「参加」し、「体験」することが一番の近道ですので、本誌をご覧いただき、さらに多くの方が興味を持ってくださることを期待しています。本誌で紹介した通り、海外植林ツアー、国内植林活動、国際交流イベントなど様々な企画を実施いたしました。今年度後半もいろいろ企画を予定しています。オイスカ会員の皆様には本部編集の月刊会報誌「OISCA」四国研修センター発行の「四国だより」及び年2回発行の本誌によりオイスカの情報をお送りしています。是非ご入会いただきますようお願いいたします。



ボーリングで盛り上がる愛媛の会員と研修生

総会ではバプアニューギニアの研修生が発見し、第二次世界大戦時から現地に伝わるという「ラパウル小唄」を研修生が唄い、年配の会員を感激させました。ピアガーデンでは研修センターにまつわるクイズで大いに盛り上がり、有意義な交流のひとときを過ごしました。

四国のつどいin愛媛

研修生との交流でオイスカ理解が深まりました

6月13日、総会と「四国のつどいin愛媛」を250名の参加を得て盛大に開催しました。愛媛ではビール工場の見学、ジンギスカンバーベキューそして会員企業対抗国際交流ポリング大会、総会、ピアガーデンでの「四国のつどい」をしました。飲酒をしない研修生も、最新技術で作られるビール工場を見学し、「ふむふむ」とメモをとっていました。また様々なタブーフードがあるオイスカ研修生ですが、ジンギスカンならだいたいが食べることができると、お腹いっぱいになりました。



たくさん募金を頂きました。

聴し、そのあと「ネパールからの女性研修生の報告」を聞きました。研修生の意欲の高さをあらためて認識しました。第二部懇親会は支局女性部の司会のもと和やかな雰囲気で行われ、最後はご当地名物「阿波踊り」でお開きとなり、楽しい交流のひとときを過ごしました。

四国のつどいin徳島

新会長の就任と阿波踊りで華やかなつどいに

昨年までも総会後、懇親パーティーが行われていましたが、今年度から総会後のパーティーをより充実して、6月15日、「四国のつどいin徳島」として開催したものです。昨年までは約30〜40名程度の参加者でありましたが、今年は研修生も含めて70名を超える参加者がありました。当日は四国支部から佐藤会長の臨席を賜り、第一部「四国研修センター活動報告会」、第二部「懇親会」の二部構成で実施しました。第一部は総会を実施した会場、まず「人気テレビ番組で放送された研修所生活のビデオ抜粋」を視聴し、そのあと「ネパールからの女性研修生の報告」を聞きました。研修生の意欲の高さをあらためて認識しました。

四国のつどいin高知

国際理解を深め、楽しいひとときを過ごしました

7月12日、高知商工会館にて高知県支局総会および「四国のつどいin高知」が開催され、会員をはじめ約70名の方が参加されました。総会では地球温暖化や森林破壊が進む中、オイスカでは地球環境保護のために実施している国内外での植林や、高知県支局で実施している、森林教室と木工教室等、様々な活動に取り組んでいる旨を報告するとともに、会員の皆様には今後とも協力いただようお願いしました。また、「四国のつどいin高知」では、オイスカ四国研修センターの活動やフィリピンにおけるオイスカ活動、研修生による寸劇などを行いました。



楽しく交流を深めた懇親会

最後は懇親会を実施し、会員、研修生、研修センター職員との交流を深め、今以上に参加者へオイスカ活動のPRを図ることが出来ました。なお、当日は参加者へインドネシア・ジャワ島地震への救援募金や研修センターで収穫された物産品の販売についても協力いただきました。

オイスカと国際交流に興味のある方を募り、地域色豊かに四国のつどい各県で開催

所属会員等関係者が一同に集まる「四国のつどい」は今年度から各県で開催されることになりました。それぞれ主催支局の趣向をこらした企画となり、研修生と会員、会員同士の交流が深まりました。尚、「四国のつどいin香川」は10月6日に行います。

第2期4年目、四国支部最大のプロジェクト ロンボック島植林を終えて



インドネシア語での自己紹介にも挑戦した児童たち(手前 青いシャツ/左から横井、竹田、西村、三木、真鍋君の5名)

もう一つの故郷、ロンボック島へ

今年で9回目を迎えるオイスカ四国支部・ロンボック島植林ツアーの参加者はほとんどがリピーターです。自分たちの植えた木の成長を見に行く人もいます。また仲良くなった村の人たち、子どもたちに会いに行くのは家族との再会のようなものです。ですから多くの人にとってロンボックはもう一つの故郷になっています。8月30日に関西空港を出発した一行は、インドネシア・バリ島で一泊し、翌早朝にロンボック島へ到着しました。まず植林会場での開会式に続き、今年度は、10,000本の植林に挑戦しました。昼食後、昨年度白峰ライオンズクラブが2校舎を建築、寄贈したレバサンバガ第1小学校を訪問し、式典や交流会を行いました。今年度のツアーの目玉は坂出市立中央小学校の児童が5名参加し、現地小学生と交流することでした。事前にオイスカ四国研修センターのインドネシア研修生から、インドネシア語の挨拶や文化、習慣を勉強して、交流に臨みました。児童はインドネシア語による自己紹介で、インドネシアの子どもたちを驚かせました。そして折り紙で、カプト、紙鉄砲、紙飛行機などを一緒に作り、遊びました。ロンボックの子どもたちには初めての経験で大喜びしました。言葉はあまり通じなくても、国境を越えた友情が芽生えました。二日間かけて果樹のドリアン、クミル、ナンカなど約8,500本と建築材のマホガニー、センゴンなどを約1,500本植えました。例年植樹しているクンビ地区を更に奥へ入ったところ約20ha、広大なバナナ畑の空いているところを見つけては植えました。土質が軟らかく植え易いところでした。あとは給水を始め十分なメンテナンスにより活着することを祈るのみです。これからは地元の人たちの仕事です。



オイスカは村人に植林の大切さを根気強く教えました。その役割の中心はかつて来日した元研修生であり、彼らだから、日本人の植林に対する思いを伝えることができたのです。オイスカ四国支部のインドネシア植林は1996年にスマトラ島で始まり、翌年はジャワ島で植林をしました。当初5カ年計画でしたが、1997年のインドネシア政変により植林は中断、その後、バリ島の東に位置する「ロンボック島」で1999年に再開しました。5年目はオイスカ創立40周年にあたり、ラプグリン・アクション2001(オイスカ全体で年間2001名を海外植林に参加させるプロジェクト)では四国から124名が参加者しました。高松空港からチャーター便でインドネシアへ移動する大計画が成功し、第一期5カ年計画を終えました。ロンボックの第二期目は2003年に始まり、四国からの植林ツアーは、森作りのきっかけに過ぎません。あくまで住民が主体になってこそ森作り運動です。第一期目ではまだそこまで住民の意識向上を成し遂げられなかった反省を踏まえ、第二期をスタートさせました。2004年には植林時期を12月にずらしてみるなど地元住民とともに考え、試行錯誤を続け、徐々に住民の意識が変わって来ました。そして2005年、2006年と継続して来ました。今年も無事ロンボック植林が終了しました。日本からの参加者延べ400人を超す四国支部最大プロジェクトですが、いよいよ来年の最終章が楽しみです。

三豊支局は以前より国際交流事業に積極的にオイスカ研修センターと地元大野原小学校、豊田小学校との国際理解教室を開いております。また昨年よりアンコールワット植林ツアー15カ年計画が開始されました。カンボジアは内戦後、平和を取り戻していますが、世界遺産アンコールワット周辺では不法伐採や焼畑による森林の減少、また台風などの被害で寺院の風化が進んでいます。そこで新しい国づくりに燃えるカンボジアの人達と共に汗を流し植林しようという企画されました。



寄贈された救急車「オイスカ三豊支局号」

第2回アンコールワット植林ツアーは平成18年11月3日(金)から8日(水)を予定しています。

三豊支局

カンボジアでの植林活動と「救急車の寄贈」

日に神戸から「オイスカ三豊支局号」が出港し、カンボジア、ブルサット州の地方病院へ寄贈されました。ツアー参加者で会員の平田陽一氏は日本での医師活動を休業し、カンボジアへ渡り、私財を投じて「基金」を設立しました。その基金はカンボジア青年の中から医学生を育て国づくりに貢献する人材育成の為のものです。このような活動に対し、在日カンボジア特命全権大使 P O U S O T H I R A K (プー・ソチラ)閣下から感謝のメッセージが届きました。「カンボジアは他のアジアの国と比べてまだ貧しく、農村地帯は公衆衛生サービスがよくありません。もっとも傷つきやすい村民は、適切な治療を受ける機会がありません。救急車の寄贈に対し心から感謝を表すとともに、オイスカ三豊支局の森英雄会長と稲田覚副会長をはじめ皆様、世界中の恵まれない人々を援助し、特にカンボジアの人々へ普遍的な平和・友愛・国内での協力に貢献してください」に對し、お祝い(お礼)の言葉を述べさせていただきます。」

一年目の植林は大成功に終わり、カンボジア王室から大歓迎され、ロイヤルパレスにてノドロム・シハモニ新国王に謁見を許されるという名誉にも恵まれました。

現地にて医療環境の酷さを目の当たりにし、日本から「救急車」を寄贈することを決定しました。4月25

愛媛県支局

松山で、タイで「私の青空」森づくり

愛媛県支局では、「森づくり」活動の一環として、平成15年より松山市・石手川上流域水源かん養林にて植林活動を展開、平成17年より「私の青空 松山空港・オイスカの森」 in えひめと題し、ANAと共催で開催しています。

今春も地元の高校生を中心に約500名の参加のもと「きちんと根付くよう丁寧に植えよう」を合言葉にクスギ、ヤマザクラなどに約1500本を植林しました。当日は、四国研修センターから多くの研修生も参加してくれ高校生達と楽しい国際交流も出来ました。

また、平成16年よりタイ王国において海外植林活動にも取り組んでいます。

3年目となる今年は8月のタイ・チェンマイ。国内での活動同様「私の青空」



植林をするタイの子供達

森づくり活動の一環としてANAと共催で実施しました。

今回は植林の他にオイスカ・ランブーンセンターを訪問することも楽しみでした。

市内から車で1時間ほど、標高約800mのムーバイン・サハコン2小学校に到着。オープニングセレモニーの後、生徒と参加者で3〜4人のグループを作り、学校から約5分の植林地へ向かい作業をおこないました。初め恥ずかしがっていた子供達も、一緒に鉄をふって汗している間に積極的になって盛んに話しかけてきました。色々な果物等の苗、約1,000本はあつという間に植えられました。

午後は別の場所に移動、村の方たちと一緒に硬い地面を掘って約800本を植えました。本当に信じられないほど石の多い硬い土地でしたが、この茶色の場所がふかふかの森になることを願いながら汗を流しました。参加してくれた村の方たちも「これだけ大変な作業をしてもらったのだから後の面倒をしつかりみます」という嬉しい言葉を頂き、私達にとって何よりのお土産になりました。

一度行ってみたいかが
研修センターを訪問してみませんか

センターは研修生の研修場所でもあり、生活場所でもあります。一つ屋根の下にいろんな国の、いろんな宗教の、いろんな言葉の研修生がみんな暮らしています。だから毎日、時間から時間への厳しいカリキュラムをこなしながらも笑い涙の青春が息づいています。



サツマイモ畑で草取り。初めての農業体験です。

ボランティアの紹介

農業ボランティア横江君は、将来海外で農業指導するのを夢見て、今年日センターでがんばっています。どんなに辛くてもニコニコ笑顔の横江君は研修生みんなの人気者です。横江君は一年間のボランティアですが、週に一回だけのボランティア制度もあります。



ボランティア横江君。研修生と盆踊りに行って来ました。

センターで農業体験

畑に入ったこともないって人も大丈夫。最近「食の安全」に対する意識が高くなってきて、自分たちの食べるものはどんな風に作られているのか興味のある人が増えてきました。センターはそんな人のためにも農業体験を提供します。



岡山県の高校生との国際交流会「グローバルユース育成事業」

センターの国際交流イベント

年間を通して、農業に関するイベントがあります。6月の「田植え交流」、7月の「夏野菜収穫祭」、8月の「国際交流キャンプ」、9月の「稲刈り交流」、10月の「芋ほり交流」です。誰でも参加でき、国際交流と農業が一度に体験できます。皆さんもぜひ一度いらしてください。



研修生がうどん作りを勉強しているので、いっしょに体験もできます。

総合学習IN四国研修センター

遠足や総合学習で県外からも研修センターを訪れる学校が増えてきました。生徒さんは、民族衣装を着て、様々な国の研修生と交流ができ、とても素敵な思い出が作れます。



研修生の1日のスケジュール(夏)

- 5:45 起床
- 6:00 点呼、国旗掲揚、ラジオ体操
- 6:30 掃除、朝食の準備、鶏のえさやり
- 7:00 朝食
- 8:15 午前の研修開始
- 11:30 研修終了
- 12:00 昼食 昼休み
- 13:30 午後の研修
- 16:30 研修終了
- 16:45 国旗降下
- 18:00 夕食
- 19:30 夜の点呼
- 22:00 就寝 (自習は23:00までOK)



2006年度 上半期のあゆみ



香川女性部研修生歓迎会

4月

- 9日(日) 香川女性部研修生歓迎会
- 11日(火) 第24回 四国支部幹事会^{※1}
- 18日(火) 愛媛県支局幹事会にてフィリピン・パラワン島支援の報告
- 24日(月) 香川女性部主催高松市オイスカ産直市^{※3}
(高松市中野町公園) 100回記念
- 28日(金) 香川県綾川町立陶小学校との交流、昭和小学校との交流
- 30日(日) 研修センター基礎研修終了。5月より専門コース始まる。



中讃支局総会

5月

- 10日(水) 第130回 四国支部常任幹事会^{※2} 研修センターにて開催
- 21日(日) 四国電力総連主催チャリティーボーリング大会に研修生が参加
- 21日(日) 香川女性部総会
- 25日(木) 中讃支局総会
- 27日(土) 28日(日) かがわ国際フェスタに研修生が参加、サポート高松にて出店



香川東支局総会(研修センターにて)

6月

- 2日(金) 第131回 四国支部常任幹事会
- 3日(土) 徳島女性部総会
- 3日(土) 綾川町生涯学習に研修生が講師として参加
- 3日(土) 高松家族会が研修生と徳島県吉野川市美郷で、ホテル見学の活動
- 6日(火) 高松支局チャリティーゴルフ
- 9日(金) 坂出支局総会
- 11日(日) 高松市琴電瓦町駅前でインドネシア・ジャワ島地震街頭募金
- 13日(火) 愛媛県支局総会及びオイスカ四国のつどい in 愛媛
- 15日(木) 徳島県支局総会及びオイスカ四国のつどい in 徳島、支局会長交替
- 17日(土) 香川東支局総会 研修センターにて開催
- 20日(火) 三豊支局総会
- 23日(金) 高松支局総会、支局会長交替
- 24日(土) 研修センター主催「田植え交流会」開催
- 30日(金) 三豊支局主催、研修生が大野原小学校へ訪問、交流



高知県支局 木工教室

7月

- 5日(水) 第132回 四国支部常任幹事会
- 10日(月) 三木中学校の生徒が研修センターへ来所、交流
- 13日(木) 高知県支局総会及びオイスカ四国のつどい in 高知
- 15日(土) 研修センター主催「夏野菜収穫祭」開催
- 15日(土) 研修センターと地元の方々で「どじょう汁交流会」開催
- 22日(土) 研修センターから、三豊市「特別養護老人ホームとがみ園」を訪問
- 25日(火) 香川県立三木高校から研修センターにインターンシップ受入れ～27日(木)
- 31日(月) 高知県支局 木工教室を開催し、研修センターからも参加



徳島県支局会員と阿波踊りに参加

8月

- 1日(火) 坂出支局が坂出白峰ライオンズクラブ納涼家族会に研修生を招待
- 2日(水) 第133回 四国支部常任幹事会
- 5日(金) 岡山県「グローバル・ユース育成事業」をセンターで開催～7日(月)
- 15日(月) 徳島県支局の招待で研修生が阿波踊りに参加
- 21日(月) 香川県教育センターからの依頼で「10年目教員研修」を研修センターで開催～24日
- 30日(水) 四国支部インドネシア ロンボック島植林出発～9月3日(日)



研修センター主催 稲刈り交流会

9月

- 6日(水) 第134回 四国支部常任幹事会
- 9日(土) 研修センター主催、「稲刈り交流会」開催
- 16日(土) 研修センター主催、「フィリピン料理教室」開催
- 20日(水) 香川県綾歌郡ライオンズクラブが研修生を「どじょう汁交流会」に招待

※1 四国支部幹事会 四国支部総会に替わるものとして支部幹事が集まり、前年度の報告をし次年度の計画を話し合います。
 ※2 四国支部常任幹事会 毎月常任幹事が集まってオイスカ活動について議論します。
 ※3 オイスカ産直市 研修センターの生産物を販売するチャリティーバザーです。

高松・徳島県両支局で 会長交替



高松支局会長
加藤 英輔



徳島県支局会長
加藤 孝子

四国支部の佐藤会長、岡田副会長からの熱心なお誘いをいただき、大役を仰せつかることになりました。四国支部では毎年インドネシアのロンボック島に出かけて植林事業を行なっているのですが、同じインドネシアのジャカルタ郊外に私の会社の工場があり、電子部品を製造しています。そのため私自身、年に1、2度はインドネシアに出かけますし、インドネシアの人々には馴染みがあります。これも何かのご縁かと思っております。ロンボック島にも出かけてみたいと思います。オイスカの現状について伺いますと、会員増強や財政等いろいろな課題があるようです。不束ながらもなんとかお役に立ちたいと思いますので、ご支援の程、何卒よろしくお願い致します。

12年前、真鍋様(徳島県支局)のご縁でオイスカを知り、その後10年間、女性部会長として活動。女性部設立時には日韓相互訪問をしたり、料理交流でフィジーに行ったりもしました。また、研修生と阿波踊りを楽しんだり、ホームステイで異文化に触れたり、国際交流と少しの貢献を楽しんでおりました。ところが晴天の霹靂と申しました。ところが晴天のお話があり、佐野前会長の後任としては、いささか役者不足。正直なところ、会員相互の交流や会独自の活動をどうしたものか……。何ともまあ頼りなくて申し訳ない程ですが、オイスカが日本で生まれた世界に誇れるNGOだということを心にとめてこれからの活動を進めて参りたいと存じます。四国支部の皆様、ご指導を宜しくお願いいたします。



当日は地元のホテル祭りでマイカーが

6月3日(土)高松支局の計画で、研修生と家族会のメンバー総勢35名参加のもとに、徳島県吉野川市美郷のホテル見物に出かけました。当地は徳島支局が過去5カ年間にわたってケヤキなど約5000本を植林し、ホテルが生息しやすい環境づくりを行なった出緒ある場所です。心配された天候も晴天に恵まれ幻想的な光を放ちながら飛び交うホテルの乱舞を目の当たりにして、一同感動また感動の一時がアツという間に過ぎました。帰りのバスの中では研修生の自己紹介につづいて、お国自まんの自己

多くバスも思うように運行できませんでしたが、渋滞時間も何のその、バスの中は急きょカラオケルームに早がわり、マイクのうばい合いで時間の経過も忘れ終始なごやかで楽しいひとときを満喫した交流会でした。

ほとんどの研修生は一年ごとに入れ替るので、このようなホテル見物は恒例行事として毎年開催し、純真な研修生との交流を通してオイスカ活動の一端を理解していただく方々の輪を広げたいと願っております。私も家族会一同一人でも多くの会員の入会を心からお待ちしております。



「あつ ホテル」感動の一時を過ごしました。

高松家族会が研修生と ホテル見学

高松支局 家族会世話人
山上 紹代
渡辺 全子